NEC Express5800/100シリーズ Express5800/E110b-M



装置の運用および保守について説明します。

[日常の保守] (90ページ)

日常使う上で確認しなければならない点やファイルの管理、クリーニングの方 法について説明します。

「システム診断」(94ページ) 診断ユーティリティの使い方について説明します。

「障害時の対処」(97ページ)

故障かな?と思ったときに参照してください。トラブルの原因の確認方法やその対処方法について説明しています。

- 「保守ツール」(121ページ) 保守ユーティリティの使い方について説明します。
- 「システムマネージメント」(126ページ) モジュラーサーバに搭載されたシステム管理機能の設定について説明します。
- 「移動と保管」(127ページ) モジュラーサーバを移動・保管する際の手順や注意事項について説明します。

「ユーザーサポート」(129ページ)

本製品に関するさまざまなサービスについて説明します。サービスは弊社、お よび弊社が認定した保守サービス会社から提供されるものです。ぜひご利用く ださい。

日常の保守

モジュラーサーバを常にベストな状態でお使いになるために、ここで説明する確認や保守を 定期的に行ってください。万一、異常が見られた場合は、無理な操作をせずに保守サービス 会社に保守を依頼してください。

アラートの確認

システムの運用中は、ESMPROで障害状況を監視してください。 管理PC上のESMPRO/ServerManagerにアラートが通報されていないか、常に注意するよ う心がけてください。ESMPRO/ServerManagerの「アラートビューア」でアラートが通報 されていないかチェックしてください。

ESMPROでチェックする画面

	LUMIN	of but the printinger water the gas	PILLO	Serve and the	at explore					
959 × 🦉	7=	ートビューア								
SMDDO5	, ,	//								
		芝居 カラムの	り設定	75-145	自動保存的	RE TOMPIE	相受信該定	SUMP-5yJ	夏信陵定 ス	ブション ヘルブ
231	件中 1~	-23件 25件 💌 チン表示								
	 ± 7	選択 選択解除	ALES.	未统	>既绕	双铁->未统				
		67	業業	947	72-94	324-424	PFLA	究在時間	¥2.2	ソース
	1 🔺 1	2天山195歳見蔵	11	C9U	ag_one	122001	192.169.1.151	2009/05/21 12:49	EMPROOM	EIMQu2-at
DEG		1-411-0-25-6支きを見 王紫	11	File System	ug_ore	123301	192.160.1.151	2089/05/21 12:47	EMPROVEM	ESMF55mmin
	•	777 A BRA 2018	tat	Tespenters	mg_inne	12001	192.068.1.151	2089/05/21 12:46	ESMPRO/SM	ESMCennes.Service
5-1 [46:100-1394]	41	トレーロション マテム 水水水学 学会	CA.	The factors	THE LITER	177101	192 108 1 151	2022/05/21 12:45	Manual Manual	SCMPCSovia
5x 1001 001 493+64064	- 11	(20人)常務上級	E a	Terreter		17100	10110110	2000/05/01 12:44	PEMERORM	FIMPortuge function
		AND A STORE WARM		com.	up join	17780	100.000.0.000	00000000000000	TOTOOTAL	Distance of the local
		COT IN COMPANY AND IN COMPANY		CPU	wb"reve	10001	194.000.1.1.91	AND ADDRESS OF TAXAB	Post Street	ersectores.
		25 A DOMESTIC NO.	120	690	mg_one	12001	192.168.1.151	2089/05/21 12:41	EMPROOM	ESHIPPH
terprise Linux Server release 5.3	. * :	1.75-1170月常高良雄	±¢	C90	mgr_rene	12001	192.068.1.151	2089/85/21 12:40	ESM59.0/SM	ESM(pu)er
	- A 2	299 A COURSE B	213	090	mg_kree	12001	192.068.1.151	2089/05/21 12:56	ESMPRO/SM	ESMOpuPer
	•	2テムに対応後期間線	213	C9U	mg_reve	12001	192.168.1.151	2089/85/21 12:35	ESMPRO/SM	ESMOpuPer
0	1 🔺 1	2テム(20歳見費	11	C9U	ing_one	12001	192.169.1.151	2009/05/21 12:34	ESMPROOM	EIM()u2-al
	1	いトワークでエラーが確認しました。	11	Newski	ag_one	123301	192.169.1.151	2089/85/20 15:22	EMPROVEM	Indicat
	•	いトワークで解決のエラーが現金しました	14	Newski	11.07.077K	12001	192.060.1.151	2089/05/20 15:21	ESMPROSM	Ladiotz
	4.5	いトワークでエラーが現金しました。	Ta.I	Newsk	THE INTE	12001	192.058.1.151	2089/05/20 15:20	ESMPRO/SM	Indicets
		2740000000000	714	1211	nor unor	177001	112 148 1 151	2002/05/20 15:18	EMPRORM	EMDedarf
			711	Manut	and come	17100	1021081110	20000052001512	POMEGORM	Indian
1 12			200		all Join	10001			ACCESS FOOTONE	
		CAP LADY MAKE	1	690	ag,one	12001	192 100.1.151	208005320 15:00	K5MP60/5M	камерина
	•	275公司的新闻教授的	1	090	mg.one	12001	192.068.1.151	2089/85/20 15:09	EMPROVEM	ESM(puber
	44	27943793萬葉集集錄圖建	ъđ	090	mg_inve	12001	192.068.1.151	2089/05/20 15:00	ESMERIC/SM	ESMONDER
		27年4月20月末年度發	213	090	mg_inne	12001	192.068.1.151	2089/85/20 15:07	ESMPRO/SM	ESMOpuPer
-	• • •									
	P2 2 4			1920 年 2010 日本 1920日 日	19.0 円 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小	19.2 ************************************				

ESMPRO/ServerManager

アラートビューア

ステータスランプの確認

モジュラーサーバの電源をONにした後、およびシャットダウンをしてモジュラーサーバの電 源をOFFにする前に、モジュラーサーバ前面にあるランプの表示を確認してください。ラン プの機能と表示の内容については「ハードウェア編」の「各部の名称と機能」をご覧くださ い。万一、モジュラーサーバや各デバイスの異常を示す表示が確認された場合は、保守サー ビス会社に連絡して保守を依頼してください。

バックアップ

定期的にモジュラーサーバのハードディスクドライブ内の大切なデータをバックアップする ことをお勧めします。モジュラーサーバに最適なバックアップ用ストレージデバイスやバッ クアップツールについてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ハードウェアの構成を変更したり、BIOSの設定を変更したりした後は、オフライン保守ユー ティリティの「システム情報の管理」機能を使ってシステム情報のバックアップをとってく ださい(11ページを参照)。

クリーニング

装置を良い状態に保つために定期的にクリーニングしてください。



本体のクリーニング

モジュラーサーバの外観の汚れは、柔らかい乾いた布で汚れを拭き取ってください。 マザーボード上のほこりは市販のOA機器用スプレー式ほこり除去剤などで取り除いてください。



キーボードのクリーニング

キーボードは本体および周辺機器を含むシステム全体の電源がOFF(POWERランプ消灯) になっていることを確認した後、キーボードの表面を乾いた布で拭いてください。

CD-ROM/DVD-ROMのクリーニング

CD-ROM/DVD-ROMにほこりがついていたり、トレーにほこりがたまっていたりすると データを正しく読み取れません。次の手順に従って定期的にトレー、CD-ROM/DVD-ROM のクリーニングを行います。

- 1. 本体の電源がOFF(POWERランプ消灯)になっていることを確認する。
- 2. 光ディスクドライブ前面のトレーイジェクトボタンを押す。
- 3. CD-ROM/DVD-ROMを軽く持ちながらトレーから取り出す。



4. トレー上のほこりを乾いた柔らかい布でふき取る。



5. CD-ROM/DVD-ROMの信号面を乾いた柔らかい布でふく。

 CD-ROM/DVD-ROMは、中心から 外側に向けてふいてください。ク リーナをお使いになるときは、CD-ROM/DVD-ROM専用のクリーナで あることをお確かめください。レ コード用のスプレー、クリーナ、ベ ンジン、シンナーを使用すると、ディ スクの内容が読めなくなったり、装 置にそのディスクをセットした結 果、故障したりするおそれがありま す。



システム診断

システム診断はモジュラーサーバに対して各種テストを行います。 「EXPRESSBUILDER」の「Tool menu」から「Test and diagnostics」を選択して診断し てください。

システム診断の内容

システム診断には、次の項目があります。

- モジュラーサーバに取り付けられているメモリのチェック
- CPUキャッシュメモリのチェック
- システムとして使用されているハードディスクドライブのチェック





ハードディスクドライブのチェックでは、ディスクへの書き込みは行いませ

システム診断の起動と終了

システム診断には、モジュラーサーバのコンソール(SUVケーブル)を使用する方法と、シリアルポート経由で接続されている管理PCのコンソールを使用する方法(コンソールレス)があります。

それぞれの起動方法は次のとおりです。

■○
 「保守ツール」では、コンソールレスでの通信方法にLANとCOMポートの2つの方法を記載していますが、コンソールレスでのシステム診断ではCOMポートのみを使用することができます。

- 1. シャットダウン処理を行った後、モジュラーサーバの電源をOFFにする。
- 試験対象となるモジュラーサーバが接続されているスイッチキットの電源をOFFに するか、スイッチキットのLANポートを使用不可にして、試験対象となるモジュ ラーサーバをシステムから切り離す。
- 3. モジュラーサーバの電源をONにする。
- 4. 「EXPRESSBUILDER」DVDを使ってシステムを起動する。

5. モジュラーサーバのコンソールを使用して起動する場合は「Tool menu(Normal mode)」を、コンソールレスで起動する場合は「Tool menu(Redirection mode)」を選択する。

システムによっては、Language selectionメニューが表示される場合がありま す。Language selectionメニューが表示された場合は「Japanese」を選択し ます。

6. TOOL MENUの「Test and diagnostics」を選択する。

Test and diagnosticsの「End-User Mode」を選択してシステム診断を開始します。約3分で診断は終了します。

診断を終了するとディスプレイ装置の画面が次のような表示に変わります。



試験タイトル

診断ツールの名称およびバージョン情報を表示します。

試験ウィンドウタイトル

診断状態を表示します。試験終了時にはTest Endと表示します。

試験結果

診断開始・終了・経過時間および終了時の状態を表示します。

ガイドライン

ウィンドウを操作するキーの説明を表示します。

試験簡易ウィンドウ

診断を実行した各試験の結果を表示します。カーソル行で<Enter>キーを押すと 試験の詳細を表示します。

システム診断でエラーを検出した場合は試験簡易ウィンドウの該当する試験結果が 赤く反転表示し、右側の結果に「Abnormal End」を表示します。 エラーを検出した試験にカーソルを移動しくEnter>キーを押し、試験詳細表示に 出力されたエラーメッセージを記録してお買い求めの販売店、または保守サービス 会社に連絡してください。 7. 画面最下段の「ガイドライン」に従い<Esc>キーを押す。

以下のエンドユーザーメニューを表示します。

TeDoLi (TEst & Diagnosis On Linux) Ver001.00 (Build020901.1.1m)					
Enduser Menu					
<test result=""></test>					
<device list=""> <log info=""></log></device>					
<option></option>					
<reboot></reboot>					
Please choose a function by the arrow key and push Enter key.					

<Test Result>

前述の診断終了時の画面を表示します。

<Device List>

接続されているデバイス一覧情報を表示します。

<Log Info>

試験ログを表示します。試験ログを保存することができます。試験ログを保存する 場合は、FATフォーマット済みのリムーバブルメディアをセットし、<Save(F)> を選択してください。

<Option>

オプション機能が利用できます。

<Reboot>

システムを再起動します。

8. 上記エンドユーザーメニューで<Reboot>を選択する。

再起動し、システムがEXPRESSBUILDERから起動します。

- 9. EXPRESSBUILDERを終了し、光ディスクドライブからDVDを取り出す。
- 10. モジュラーサーバの電源をOFFにする。

11. 手順2で切り離したスイッチキットとモジュラーサーバ間のLANを接続し直す。 以上でシステム診断は終了です。

障害時の対処

「故障かな?」と思ったときは、ここで説明する内容について確認してください。該当するこ とがらがある場合は、説明に従って正しく対処してください。

障害箇所の切り分け

万一、障害が発生した場合は、ESMPRO/ServerManagerを使って障害の発生箇所を確認 し、障害がハードウェアによるものかソフトウェアによるものかを判断します。 障害発生個所や内容の確認ができたら、故障した部品の交換やシステム復旧などの処置を行 います。

障害がハードウェア要因によるものかソフトウェア要因によるものかを判断するには、 ESMPRO/ServerManagerが便利です。



エラーメッセージ

モジュラーサーバになんらかの異常が起きるとさまざまな形でエラーを通知します。ここでは、エラーメッセージの種類について説明します。

POST中のエラーメッセージ

モジュラーサーバの電源をONにすると自動的に実行される自己診断機能「POST」中に何らかの異常を検出すると、ディスプレイ装置の画面にエラーメッセージを表示します。

次にエラーメッセージの一覧と原因、その対処方法を示します。



<u>``</u>	•	POSTのエラーメッセージ一覧はモジュラーサーバ単体のものです	0
5 EVR			-

2	•	POSTのエラーメッセージには、POSTエラーコードも含まれている場
		合があります。例えば、「8100: Memory Error detected in DIMM #1」
		が表示された場合、8100がPOSTエラーコードを示します。

ディス	、プレイ上のエラーメッセージ	意味	対処方法
0200	Failure Fixed Disk	ハードディスクエラーが発生し た。	保守サービス会社に連絡してください。
0230	System RAM Failed	基本システムメモリ領域にてエ ラーを検出した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーバの再立ち上げ(リセット)を実施して ください。 * OS からの制御 * [Ctrl + Alt + Del] キー入力 * EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web プラ
0231	Shadow Ram Failed	システムメモリ内のシャドウ領 域にてエラーを検出した。	ウザ、または ESMPRO/ServerManager からの制御 2. 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーバの電源を一旦 OFF し、電源を ON し てください。 * OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、素道を ON
0232	Extend RAM Failed	拡張システムメモリ領域にてエ ラーを検出した。	 *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押 し、電源を ON *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラ ウザ、または ESMPRO/ServerManager か らの制御 DIMM の取り付け状態を確認してください。 DIMM を交換してください。 問題が解決しない場合は、保守サービス会社 に連絡してください。

ディス	、プレイ上のエラーメッセージ	意味	対処方法
0250	System battery is dead - Replace and run SETUP	CPU ユニット上のリチウムバッ テリにてエラーを検出した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの電源を一旦 OFF し、電源を ON してください。 *OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラウザ、または ESMPRO/ServerManager からの制御 OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを押すごとにより、モジュラーサーバの電源を OFF し、モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから一旦取り出し、再度取り付けすいたではい。 モジュラーサーバ上のリチウムパッテリの取り付け状態を確認してください。 モジュラーサーバ上のリチウムパッテリの取り付け状態を確認してください。 モジュラーサーバ上のリチウムパッテリを交換してください。 間題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡してください。 備考:モジュラーサーバの再立ち上げ後、BIOS セットアップをお助し、日付・時刻めそ
0251	System CMOS checksum bad - Default configuration used	CPU ユニット上の CMOS チェックサムエラーを検出した。	BIOS セットアッフを起動し、日村・時刻やそ の他の設定項目を設定し直してください。 BIOS SETUP の設定がデフォルト値に設定さ れました。 1. BIOS セットアップを起動し、設定項目を設 定し直してください。 2. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社 に連絡してください。
0252	Password checksum bad - Passwords cleared	パスワードのチェックサムエ ラーを検出した。	パスワードがクリアされました。 1. BIOS セットアップを起動し、設定項目を設 定し直してください。 2. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社 に連絡してください。
0260	System timer error	システムタイマーエラーを検出 した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの電源を一旦OFFし、電源をONしてください。 *OSから電源をOFFし、POWER/SLEEPスイッチを押し、電源をON *POWER/SLEEPスイッチを押し、電源をON
0270	Real timer error	リアルタイムエラーを検出した。	 UPP U、POWER/SLEEF スイッチを評し、電源を ON * EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラウザ、または ESMPRO/ServerManager からの制御 2. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
0271	Check date and time set- ting	リアルタイムクロックの時刻設 定に誤りを検出した。	 BIOS セットアップを起動し、日付・時刻を 設定し直してください。 問題が解決しない場合は、保守サービス会社 に連絡してください。
0200		システムキャッシュエラーを検 出した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーバの再立ち上げ(リセット)を実施して ください。 *OSからの制御 *[Ctrl + Alt + Del] キー入力 *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web プラ ウザ、または ESMPRO/ServerManager からの制御 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーバの電源を一旦 OFF し、電源を ON し てください。 *OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web プラ ウザ、または ESMPRO/ServerManager か らの制御 問題が解決しない場合は、保守サービス会社 に連絡してください。

ディスプレイ上のエラーメッセージ	意味	対処方法
OB70 The error occurred dur- ing temperature sensor reading	温度センサの読み込み中にエ ラーを検出した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーパの再立ち上げ(リセット)を実施して ください。 *OSからの制御 *[Ctrl + Alt + Del] キー入力 *EXPRESSSCOPE エンジン2のWebプラ ウザ、またはESMPRO/ServerManagerからの制御 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーパの電源を一旦OFFし、電源をONしてください。 *OSから電源をOFFし、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源をON *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源をON *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源をOFFし、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源をON *EXPRESSSCOPE エンジン2のWebプラ ウザ、またはESMPRO/ServerManagerからの制御 OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを押すことにより、モジュラーサーバの電源をOFFし、モジュラーサーバの電源をOFFし、モジュラーサーバの電源をOFFレ、モジュラーサーバの電源をOFFし、モジュラーサーバの電源をOFFし、モジュラーサーバの電源をOFFし、モジュラーサーバの電源をOFFし、モジュラーサーバの電源をOFFし、モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから一旦取り出し、 再度取り付け直し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源をMILてください。 問題が解決しない場合は、保守サービス会社 に連絡してください。
OB71 System Temperature out of the range	温度異常を検出した。	 モジュールエンクロージャの FAN BOX を 確認してください。 モジュールエンクロージャのユーザーズガイ ドを参照し、正しい数量・位置の FAN BOX が実装されているかを確認してください。 FAN BOX とモジュラーサーバとの実装位置 関係が正しいことを確認してください。 モジュラーサーバのヒートシンクの取り付け 状態を確認してください。 設置環境が動作保障温度を満たしていること を確認してください。 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーバの再立ち上げ(リセット)を実施して ください。 図 からの制御 [Ctrl + Alt + Del] キー入力 * EXPRESSSCOPE エンジン 2 0 Web プラウ ザ、または ESMPRO/ServerManager から の制御 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーバの電源を一旦 OFF し、電源を ON し てください。 * OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON * POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON * POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON * EXPRESSCOPE エンジン 2 の Web プラウ ザ、または ESMPRO/ServerManager から の制御 OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON * DOS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを押すことにより、モジュラーサー/バの電源を OFF し、モジュラーサー/Nの電源を OFF し、モジュラーサー/Nの電源を OFF し、モジュラーサー/Nの電源を OFF し、マシュラーサー/Nの電源を OFF し、マシュラーサー/Nの電源を OFF し、マシュラーサー/Nの電源を OFF し、モジュラーサー/Nの電源を OFF し、アンジュラーサー/Nの電源を OFF し、モンシンクロージャからークUV (たま)

ディスプ	レイ上のエラーメッセージ	意味	対処方法
0874 T i	he error occurred dur- ng voltage sensor read- ng	電圧センサの読み込み中にエ ラーを検出した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーバの再立ち上げ(リセット)を実施して ください。 *OSからの制御 *「Ctrl + Alt + Del」キー入力 *EXPRESSSCOPE エンジン2のWebプラウ ザ、またはESMPRO/ServerManagerからの制御 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーバの電源を一旦OFFし、電源をONしてください。 *OSから電源をOFFし、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源をON *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源をON *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源をON *EXPRESSSCOPE エンジン2のWebプラウ ザ、またはESMPRO/ServerManagerからの制御 OSからの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを押すことにより、モジュラーサーバの電源をOFFし、モジュラーサーバの電源をOFFし、モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから一旦取り出し、 再度取り付け自し、POWER/SLEEPスイッ チを押し、電源をONしてください。 問題が解決しない場合は、保守サービス会社 に連絡してください。
0875 s	system voltage out of the range	電圧異常を検出した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーバの再立ち上げ(リセット)を実施して ください。 *OS からの制御 *「Ctrl + Alt + Del」キー入力 *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラウ ザ、または ESMPRO/ServerManager から の制御 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーバの電源を一旦 OFF し、電源を ON し てください。 *OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラウ ザ、または ESMPRO/ServerManager から の制御 OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを押すことにより、モジュラーサー パの電源を OFF し、モジュラーサー パの電源を OFF し、モジュラーサー パをモジュールエンクロージャからー旦取り出し、 再度取り付け直し、POWER/SLEEP スイッ チを押し、電源を ON してください。
0B82 B u	MC core hardware fail- ire	BMC(EXPRESSSCOPE エンジ ン 2) の故障を検出した。	 OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを押すことにより、モジュラーサー パの電源を OFF し、モジュラーサーバをモ ジュールエンクロージャから一旦取り出し、 再度取り付け直し、POWER/SLEEP スイッ チを押し、電源を ON してください。 問題が解決しない場合は、保守サービス会社 に連絡してください。

ディス	プレイ上のエラーメッセージ	意味	対処方法
OB83	BMC IBF or OBF check failed	BMC(EXPRESSSCOPE エンジ ン 2) アクセスエラーを検出し た。	 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーパの再立ち上げ(リセット)を実施して ください。 *OSからの制御 *「Ctrl + Alt + Del」キー入力 *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラ ウザ、または ESMPRO/ServerManager か らの制御 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーパの電源を一旦 OFF し、電源を ON し てください。 *OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押 し、電源を ON *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラ ウザ、または ESMPRO/ServerManager か らの制御 OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを押すごとにより、モジュラーサー/バの電源を OFF し、モジュラーサー/バの電源を OFF し、モジュラーサー/バの電源を OFF し、モジュラーサー/ドをモ ジュールエンクロージャから一旦取り出し、 再度取り付け直し、POWER/SLEEP スイッ チを押し、電源を ON してください。 問題が解決しない場合は、保守サービス会社 に連絡してください。
0B8A	BMC SEL area full	IPMI システムイベントログの書 き込める容量がないことを検出 した。	 BIOS セットアップを起動し、「Server」- 「Event Log Configuration」 - 「Clear All Error Logs」を実行し、IPMI システムイベ ントログを消去してください。 問題が解決しない場合は、保守サービス会社 に連絡してください。 備考:BIOS セットアップにて IPMI システム イベントログを消去する前に、オフライン保守 ユーティリティを起動し、IPMI システムイベ ントログをバックアップすることもできます。
OB8B	BMC progress check time- out	BMC(EXPRESSCOPE エンジン)の故障を検出した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの再立ち上げ(リセット)を実施してください。 * OS からの制御 * [Ctrl + Alt + Del] キー入力 * EXPRESSSCOPE エンジン2のWeb プラウザ、またはFSMPRO/ServerManager か
OB8D	Could not redirect the console - BMC Busy -	コンソールリダイレクトができ ないこと (BMC ビジー) を検出 した。	らの制御 2. 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーバの電源を一旦 OFF し、電源を ON し てください。 * OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON * POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を
OB8E	Could not redirect the console - BMC Error -	コンソールリダイレクトができ ないこと (BMC エラー) を検出 した。	 OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON * EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web プラウザ、または ESMPRO/ServerManager からの制御 3. OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを押すことにより、モジュラーサー
0B8F	Could not redirect the console - BMC Parameter Error -	コンソールリダイレクトができ ないこと (BMC パラメータエ ラー) を検出した。	バの電源を OFF し、モジュラーサーバをモ ジュールエンクロージャから一旦取り出し、 再度取り付け直し、POWER/SLEEP スイッ チを押し、電源を ON してください。 4. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社 に連絡してください。

ディス	、プレイ上のエラーメッセージ	意味	対処方法
0890	BMC Platform Information Area corrupted	BMC(EXPRESSSCOPE エンジ ン 2) の故障を検出した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの再立ち上げ(リセット)を実施してください。 * OS からの制御 * [Ctrl + Alt + Del] キー入力 * EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web プラウザーまた(LESMPPO/ServerManager t)
0B91	BMC update firmware cor- rupted		らの制御 2. 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーバの電源を一旦 OFF し、電源を ON し てください。 * OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON * POWEP/SLEEP スイッチを押し、電源を ON
0892	Internal Use Area of BMC FRU corrupted		OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押 し、電源を ON *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラ ウザ、または ESMPRO/ServerManager か らの制御 3. OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを押すことにより、モジュラーサー
0B93	BMC SDR Repository empty		パの電源を OFF し、モジュラーサーバをモ ジュールエンクロージャから一旦取り出し、 再度取り付け直し、POWER/SLEEP スイッ チを押し、電源を ON してください。 4. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社 に連絡してください。
0894	IPMB signal lines do not respond	CPU ユニット内部、あるいは外 部の SMBus にてエラーを検出 した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの再立ち上げ(リセット)を実施してください。 * OS からの制御 * [Ctrl + Alt + Del] キー入力 * EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラウザ、または ESMPRO/ServerManager からの制御 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの電源を一旦 OFF し、電源を ON してください。 * OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON * POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON * POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON * EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラウザ、または ESMPRO/ServerManager からの制御 OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを押すことにより、モジュラーサーバの電源を OFF し、モジュラーサーバの電源を OFF し、モジュラーサーバの電源を OFF し、モジュラーサーバの電源を OFF し、モジュラーサーバの電源を OFF し、マシュールエンクロージャから一旦取り出し、再度取り付け直し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON してください。 4. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡してください。

ディスプレイ	上のエラーメッセージ	意味	対処方法
OB95 BMC FI OB96 BMC SI ure	RU device failure DR Repository fail-	BMC(EXPRESSSCOPE エンジ ン 2) の故障を検出した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの再立ち上げ(リセット)を実施してください。 * OS からの制御 * [Ctrl + Alt + Del] キー入力 * EXPRESSSCOPE エンジン2の Web プラウザ、または ESMPRO/ServerManager からの制御
0007 000 0			2. 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーバの電源を一旦 OFF し、電源を ON し てください。
ORAL RWC 21	EL device failure		*OSから電源をOFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押 し、電源を ON
OB98 BMC RA	AM test error		 *EXPRESSSCOPE エンシシン 2 の Web フラ ・ ・ サブ、または ESMPRO/ServerManager か らの制御 3. OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを押すことにより、モジュラーサー ドの薄薄をのCCL エンシューサー がの薄薄をのCCL
OB99 BMC Fa	atal hardware error		 バの電源をOFF と、モジラーリーハをモジュールエンクロージャから一旦取り出し、 再度取り付け直し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源をON してください。 4. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
OB9A BMC no	ot responding		
OBBO SMBIO: error	S - SROM data read	モジュラーサーバ内部の SROM(FRU) データ読み込み中 にエラーを検出した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーバの再立ち上げ(リセット)を実施して ください。 * OS からの制御 * [Ctrl + Alt + Del] キー入力 * EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web プラ ウザ、または ESMPRO/ServerManager か らの制御 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーバの電源を一旦 OFF し、電源を ON し てください。 * OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON * POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を
OBB1 SMBIO: check	S - SROM data sum bad	モジュラーサーバ内部の SROM(FRU) データチェックサ ムエラーを検出した。	 OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web プラウザ、または ESMPRO/ServerManager からの制御 3. OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを押すことにより、モジュラーサーバの電源を OFF し、モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから一旦取り出し、再度取り付け直し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON してください。 4. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡してください。

ディスプレイ上のエラーメッセージ	意味	対処方法
OBD1 1st SMBus device Error detected	CPU ユニット内部、あるいは外 部の SMBus にてエラーを検出 した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーパの再立ち上げ(リセット)を実施して ください。 *OSからの制御 *[Ctrl + Alt + Del] キー入力 *EXPRESSSCOPE エンジン2のWebプラ ウザ、またはESMPRO/ServerManagerからの制御 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーパの電源を一旦OFFし、電源をONしてください。 *OSから電源をOFFし、POWER/SLEEPスイッチを押し、電源をON *POWER/SLEEPスイッチを押し、電源をOFFし、POWER/SLEEPスイッチを押し、電源をON *EXPRESSSCOPE エンジン2のWebプラ ウザ、またはESMPRO/ServerManagerからの制御 OSからの制御、あるいはPOWER/SLEEP スイッチを押すことにより、モジュラーサーバの電源をOFFし、モジュラーサーバの電源をOFFし、モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから一旦取り出し、 再度取り付け直し、POWER/SLEEPスイッ チを押し、電源をONしてください。 問題が解決しない場合は、保守サービス会社 に連絡してください。
OBD4 2nd SMBus device Error detected OBD7 3rd SMBus device Error	CPU ユニット内部の SMBus、 あるいは SMBus デバイスにて エラーを検出した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの再立ち上げ(リセット)を実施してください。 *OSからの制御 *[Ctrl + Alt + Del] キー入力 *EXPRESSSCOPE エンジン2のWeb プラ
detected		ウザ、または ESMPRO/ServerManager からの制御 2. 以下のいずれかの方法により、モジュラー サーバの電源を一旦 OFF し、電源を ON し
OBDA 4th SMBus device Error detected		 *OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを押 し、電源を ON
OBDD 5th SMBus device Error detected		*EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web プラ ウザ、または ESMPRO/ServerManager か らの制御 3. OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを押すことにより、モジュラーサー
OBEO 6th SMBus device Error detected		バの電源を OFF し、モジュラーサーバをモ ジュールエンクロージャから一旦取り出し、 再度取り付け直し、POWER/SLEEP スイッ チを押し、電源を ON してください。 4. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社 に連絡してください。
8100 Memory Error detected in DIMM #1	DIMM #1 でメモリエラーを検 出した。	1. [Advanced] → [Memory Configuration] → [Memory Retest] → [Yes] →再起動
8101 Memory Error detected in DIMM #2	DIMM #2 でメモリエラーを検 出した。	を実行してくたさい。 2. DIMM が故障している可能性がありますの で、交換してください。 3. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社 に連絡してください。
8150 NVRAM Cleared By Jumper	ジャンパ設定により NVRAM/ CMOS をクリアしたことを検出 した。	保守サービス会社に連絡してください。
8151 Password Cleared By Jumper	ジャンパ設定によりパスワード をクリアしたことを検出した。	

ランプによるエラーメッセージ

モジュラーサーバにあるランプはさまざまな状態を点灯、点滅、消灯によるパターンや色に よる表示でユーザーに通知します。「故障かな?」と思ったらランプの表示を確認してくださ い。ランプ表示とその意味については「ハードウェア編」の16ページをご覧ください。

サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ

ESMPRO/ServerManagerなどの管理ツールを管理PCヘインストールしておくと、何らかの障害が起きたときに管理PCに接続しているディスプレイ装置から障害の内容を知ることができます。

各種アプリケーションのインストールや運用方法についてはソフトウェア編、またはオンラ インドキュメントを参照してください。

ESMPROを使ったシステム構築や各種設定の詳細についてはオンラインヘルプで詳しく説明 されています。

仮想LCD上のエラーメッセージ

EXPRESSSCOPEエンジン2 (BMC) WebブラウザやESMPRO/ServerManager Ver.5の画 面にて、仮想LCDの表示を確認できます。上段と下段それぞれのメッセージの一覧と障害内 容、その対処方法を示します。

また、POST中にエラーを検出した場合は、POSTが終了した後、仮想LCD上にPOSTエ ラーコードを表示します。

- 本装置のハードウェアの取り付け状態の確認、取り付け直しや交換の作 重要 キ装置の水ードウェアの取り付け状態の確認、取り付け直しや交換の作 業は無理をせず、作業を熟知している保守サービス会社に依頼してくだ さい。
 - 保守サービス会社に連絡するときには、仮想LCDの表示をメモしておい てください。保守を行うときに重要な情報となります。
 - 対処方法は、OSからの制御による「再立ち上げ(リセット)」や「電源 OFF」を優先して実施してください。

					a nu tuntos	an normoto numbergoi
	リモート制御	集種	リモートデバイス	設定	ヘルズ	
.192.168.1.9) ulministrator (Adr	ministrator)					
IPM情報						
21	信葉語のIPNE Ontelligent Platform Ma	anagement Interfa	ce〉情報を表示・バックアップしる	et.		
	(B)		3	1		
	119-14	- 4		IDM R	tad Miturian	
	<u>88.900</u>	SDRMM	FRUMME MORE	e	-77	
c.	E1 48.48					
	装置の口グ情報(System Event I	Log)を表示します。	,			
5	装置のセンサー情報Sensor Da	ta Record/吃表示/	します。			
FI	RU情報 注意の保守文格認忌情報(Field	Benlaceable Unit	hternation波表示(ます。			
н	の情報	-	et Controller Internation/Rak-	1 = 7		
IP	MI情報のパックアップ	2 MAR OVER DE	in controller internation/2003	(JE 9 +		
	業置のIPMDIntelligent Platform	Management Inter	rtace/時間をパックアップします。			
		Host Inform	ation LED		Remote Device	
		Drone	Co To Port	目標オン	メディア未接続	
)	@ 1	E#		
	000		0 L	ID浦打		
NEC	Empowered by Innovation	Deposigha (C) NO	C Carperation 2006 2009 All of	ghu reserved.	ESM	IPRO5
NEC	Empowered by Innovation アルートビュ study: (構成: アドミニンドレータ)[[Jug	Сөрэчідін (С) МЭ — 7 ⁻ 9 ⁻ - 11 ⁻ 19 інский КАПО Оніла	C C + systemation, 2006 2009 All pi ため 信気設定 (通信サービス) y Mit モード・フドバンフトモート 3	ghis miserved. ユーザアカウン	ESN * EM580 Gerent Manager	(PRO5
NEC 1-98 Admin 98-7	Empowered by Innovation アメートとな stast: (構成: アドミニストレーク) [[76]	⊂opynight (C) ND = 7 9 = 14 H inemal RAID Unity	C Composition 2006-2009 All of example 2 (1995年) (1995年)、アドバンフィモート) y All モード、アドバンフィモート)	ghis reserved. 3-972095	ESM 1 EM580 Gerven Manager	IPRO5
NEC 1-98 Admin 96-7	Empowered by knowation P ³ D=F-2:a man: (MM - PFS=2F)== 0 (m) MM yest.> parks U(==>Md	- 7 - 9 - 14 - 14	C Campananica, 2006-2009 All ai (株式)	ohis reserved. 2-97893	ESA * 123558CGrowthunger	APRO5
NEC 1-95 Journes 98-7 1-95 generation	Empowered by knowstion	- 7 9-16 10 renal FAID Utab	C Caupernations 2006-2009 AU of たま 」 使用数字 」 (2014 サービス、 2014 モード・フド パンジンド モード) 単位な 数点体数	ghis reserved.	ESM * 1311587567991Margat	APRO5
NEC 2-95 Advent 96-7 9 root 1 Galloon 1 garadire	С Епромене by Innovation (101 - 2014 - 20	- 7 - 12 - 16 - 16 recei FAID Utile	C Caspanadow 2165 2169 All A All (11) All (11) All (12) All	2 – V 7 D 93	2515565 CenverAlexecco 251556 CenverAlexecco 25155 251556 CenverAlexecco 25155 251556 CenverAlexecco 25155 251556 CenverAlexecco 251556 CenverAlexecco	
NEC 2-95 Advisor 96-7 9 mot H GREON H GREON H GREON H GREON H GREON H GREON	Compowered by knowation アクコトビス (1997 (1997、アドミニット レーマ) (1997 第二章 (1997、1997、1997、1997、1997、1997、1997、1997	- 2 - 2-12 D cross FAID Utile	C Crependice 2005 2009 AD 24 本書 単数数字 値構 サービス 1 水晶 (単数数字 10 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 /	2-5750) E.S.S.S.S.S.S.S.S.S.S.S.S.S.S.S.S.S.S.S	2554 (2512)25054994044499 2574 45747 4574 4574 4574 4574 4574 4574 4	INCLUSE ALCONTRACTOR
NEC 2-VS Johns 26-7 Const 10 cttbox 10 pereite 10 post 10 post 10 post 10 post 10 post 10 post 10 post	С Етромена by Innovation		C C Haysen 21(4) 21(7) 21(7) All (2) All (2) All (2) All (2) All (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	246 reserved. 2 - 97500 8 8 9 4	2551 2512	
NEC 2-93 Advice 28-7 0 soct 10 genetice 10 genetice 10 genetice 10 genetice 10 genetice	Етромена by knowston		C Capanadon 2016 2019 AU 2 本 (単現版主) (4月9 - ビッ) 本 (単現版主) (4月9 - ビッ) 本 (11 - ビッ) 本 (12 - ビッ) (12 - ビッ) (ала такта I 1 — 4 7 500 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	PERSONAL AND A DESCRIPTION OF A DESCRIPP	Manager Vo. Manager Vo. 1933 (1932) (1922) 1933 (1932) (1922) 1933 (1932) (1922)
NEC 2-95 Advect 9.6-7 Sect H GROOM H Sparkler H Sparkler H Sparkler H Sparkler H Sparkler H Sparkler H Sparkler	С тромене by knowation 2007 243 2017 241 212-214-214 212-214	- 27 27-16 16 eranal RAID Units t t t t the W H	C Copyrindian 2016 2019 Attiti C Copyrindian 2016 2019 1010 - 1010 - 1010 - 1010 1010 - 1000 1010 - 1000 1010 - 100	3 - 97502 S - 97502	2520 2520	Валадо Vел. Маладо Vел. 1920г Май 1929 / 1920 Макелон II 1920 1920 1920 / 1920 1920
NEC 2-95 Abres 2-8-7 1-10 GROM 1-10 GROM 1-10 GROM 1-10 GROM 1-10 GROM 1-10 GROM 1-10 GROM 1-10 GROM	Empowered by Innovation 755-1223 Tester (#1 77-250-263) (10 10-123) (10 10-123) (10 10-123) 9 - rit2 are 10 - rit2 are		C Copension 2465 2169 2016 22	дая насталь 3 — 97502 В 9 4	ESSA 1 1215/2/GovernMeneree 1215/2/GovernM	Manager Ver Manager Ver State patient (2012) (01) 39204-8
NEC 2-93 Advance 28-7 Winter Provid Provide Pr	Empowered by knowation 2007 Dist 2017 Dis	Segnet (2) NZ	C Cropension 1466 2019 AU 6 2 - 1 年48日 2 - 1 月 9 - 1 と 3 1 月 1 - 2 - 7 1 の 2 - 7 1 - 7 1 の 2 - 7 1 - 7 1 日 2 - 7 1 月 1 - 7 1 - 7 1 の 2 - 7 1 - 7 2 - 7 1 日 2 - 7 1 H 2 - 7	2 - 7750) 1 - 7750) 2 - 7750 4	Contemporation	6011 16013
NEC 2-92 Advects 9.6-7 C rate for attraction for at	Empowered by Innovation	- Seyset (Jan (C) (K7) - Seyset (Jan (C) (K7)) - Seyset (Jan (C)	C C C (1999) 1063 2169 211 (1 2 C (1999) 2063 2164 2169 216 (1 2 C (1997) 2164 216 2 C (дай канина 1 — Ф.7500 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	ESSA 1 121/21/2004/14/00/00 2004/00/2004/04/11/2007 2004/04/2011/2007 2004/04/2011/2007 2004/04/2011/2007 2004/04/2011/2007 2004/04/2011/2007 2004/04/2011/2007 2004/04/2007 2	
NEC	Composeed by Innovation Solution	- Yoyati (Y) Ki - Y - Y - U - U karana RAID Wala karana RAID Wala karanana karana karana karana karana karana karana kara	C Craynolox 3160 2169 211 H 2	3 - 9750) 2 - 9750) 8 9	ECCONCENTRATE	Alamagee koo
NEC 2 - 9% Adria 96-7 © and 1-0 Adrian 1-0 A	Emposend by knowlin R-P42 R-		C C C (1999) 166-2169 AU (1 4 日本) 166-2169 AU (1 4 日本) 166-217 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	дая техника 1 - Ф / Бор 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	EXT 21/2 CONTINUES EXT 21/2 CONTINUES EXT 21/2 CONTINUES EXT 2	011 1920-1920 1920-1920 1920-1920 1920-1920 1920-1920 1920-1920 1920-1920 1920 1920 1920 1920 1920 1920 1920
NEC 26-7 36-7 10 met 10 statost 10 spada 10 spada 10 spada	Спроченся by invosors 20-0 ст. 20-0 ст. 20		C C (1999) 1063 2169 2119 211 1 2	3 - 97803 3 - 97803 2 2 3 3 3 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	(1) 1 2012 - Convertigence (2) 1 2012 - Convertigen	
NEC 2 - 98 Advert 96-7 1- antor 1- anto	Imposend by involution 0.9 - 0.0 ± 0.		C C CLEMINGON 2014 2017 ALL AL 2 C CLEMINGON 2014	2 - 77502 2 - 77	2222 222 222	(01) 332048
NEC 2 € 28 Abros 2 6 − 7 3 6 rot 1 € rotor 1 € rotor 1 € rotor 1 € rotor 1 € rotor 1 € rotor	Спранител by Introduction	Negatifat (n) KT	C C C (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	2 - 97502 2 - 97502 8 4 4 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	Exercise	011 2601
NEC 2 - 98 Anne 2 5 - 7 ○ and - 0 motol - 9 polar - 9 polar	Constraints of the second seco	> >-12 H Preval BALD Utata RAID RAID RAID RAID RAID RAID RAID RAID	C CLEANING THE 2009 ALL AL ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL	2 - 97500 2 - 975000 2 - 975000 2 - 975000 2 - 975000 2 - 975000000000000000000000000000000000000	EXCEPTION EXCEPTION EXCEPTION EXCEPTION EXCEPTIO	Pek2
NEC 2 - 92 Adres 94 - 2 1 - 2 1 1 - 2 1 - 2	Impounded by introduced State		C C C (1)++++++++++++++++++++++++++++++++++++	24 - 0 7 50 2 - 0 7 50 2 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0	EXERCISE EXERCISE EXERCISE EXERCISE EXERCISE	Admagae kar Satara na Var U Var Istara na Var U Var Istara Istara Para 2
NEC 1 - 2 - 2 7 - 7 7	Imposund ly involution Imposund ly involutin Imposund ly involu		C C (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	24 minut 1 1 - 9 7 500 2 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	EXECUTE EXECUTE EXECUTE EXECUTE EXE	
NEC 2 - 92 Anno 9-7 - 10 Anno -	с страните la jeneration 2. страните la jeneration 3. страните la jener		C C C (1999) 1662 2169 2116 2169 2116 2169 2169 2169	2 4 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	Control (Control (Contro) (Control (Contro) (Contro) (Contro) (Contro) (Contro) (Contro)	Alterange Var Alterange Var Million (1) Million Milli

POST動作中

POST実行コード システムBIOSのバージョン 49 BIOS Rev 0009

POSTエラーコード

P	B78		

POST実行コード

主なPOST実行 コード	意味
28h	メモリのテストと初期化
2Ah	メモリのゼロクリア
2Ch	メモリのアドレスラインテスト
2Eh	メモリのデータラインテスト
0Ah	プロセッサの初期化
2Fh	プロセッサキャッシュの設定
38h	システムBIOSのShadowing
67h	アプリケーションプロセッサの初期化
69h	SMIの初期化
49h	PCIデバイスの初期化(リソース割り当て)
55h	USBの初期化
4Ah	ビデオコントローラの初期化
4Ch	ビデオBIOSのShadowing
59h	POST画面表示機能の初期化
C6h	コンソールダイレクション機能の初期化
4Eh	コピーライトの表示
50h	プロセッサ情報の表示
60h	拡張メモリのテスト
62h	拡張メモリのアドレステスト
68h	キャッシュのコンフィグレーション
6Ah	キャッシュサイズの表示
87h	1/0デバイスのコンフィグレーション
98h	PCIデバイスのオプションROM展開
93h	マルチプロセッサのコンフィグレーション
9Ch	SMIのセットアップ
BAh	SMBIOSの初期化
C3h	POSTエラーの表示
ACh	BIOSセットアップの起動
B0h	POSTエラーのチェック
BDh	Bootメニューの表示
97h	MPテーブルの作成
C0h	 ブート開始処理

その他のメッセージ

LCD上段表示メッセージ

● STATUSランプが緑色に点灯しているとき

メッセージ	意味	対処方法
Prepare To Boot	POST が正常に終了した。	エラーではありません。

● STATUSランプが消灯しているとき

メッセージ	意味	対処方法
PCI Bus SERR 01	チップセットでシステムエラー を検出した。	1. 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの再 立ち上げ(リセット)を実施してください。
PCI Bus SERR 07	LAN1 デバイスでシステムエ ラーを検出した。	* OS からの制御 * [Ctrl + Alt + Del] キー入力 * EXPRESSCOPE エンジン 2 の Web プラウザ また
PCI Bus SERR 09	LAN2 デバイスでシステムエ ラーを検出した。	はESMPRO/ServerManagerからの制御 2.以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの電
PCI Bus PERR 01	チップセットでシステムエラー を検出した。	源を一旦 OFF し、電源を ON する。 * OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを
PCI Bus PERR 07	LAN1 デバイスでシステムエ ラーを検出した。	押し、電源を UN する。 *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、 POWFR/SI FFP スイッチを押し、電源を ON する。
PCI Bus PERR 09	LAN2 デパイスでシステムエ ラーを検出した。	*EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラウザ、また は ESMPRO/ServerManager からの制御する。 3. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡し てください。

LCD下段表示メッセージ

● STATUSランプが消灯しているとき

メッセージ	意味	対処方法
SMI timeout	システム管理割り込み中にタイムアウトが発生した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの再 立ち上げ(リセット)を実施してください。 *OSからの制御 *「Ctrl + Alt + DelJ キー入力 *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラウザ、また は ESMPRO/ServerManager からの制御 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの電 源を一旦 OFF し、電源を ON する。 *OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを 押し、電源を ON *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、 POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、 POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON *EXPRESSCOPE エンジン 2 の Web ブラウザ、また は ESMPRO/ServerManager からの制御 OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを 押すことにより、モジュラーサーバの電源を OFF し、 モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから一旦 取り出し、再度取り付け直し、POWER/SLEEP スイッ チを押し、電源を ON してください。 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡して ください。

メッセージ	意味	対処方法
DUMP Request !	DUMP スイッチが押された。	 OS ダンブが完了するまで待つ。 1. 完了しなかった場合、以下のいずれかの方法により、 CPU ブレードの再立ち上げ(リセット)を実施する。 *OS からの制御 *[Ctrl + Alt + Del] キー入力 *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラウザ、また は ESMPRO/ServerManager からの制御 2. 以下のいずれかの方法により、CPU ブレードの電源を ー旦 OFF し、電源を ON する。 *OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを 押し、電源を ON *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、 POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラウザ、また は ESMPRO/ServerManager からの制御 3. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡し てください。
WDT timeout	ウォッチドックタイムアウトが 発生した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの再 立ち上げ(リセット)を実施してください。 *OSからの制御 *「Ctrl + Alt + Del」キー入力 *EXPRESSSCOPE エンジン2のWeb ブラウザ、また はESMPRO/ServerManager からの制御 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの電 源を一旦OFF し、電源をON する。 *OSから電源をOFF し、POWER/SLEEP スイッチを 押し、電源をON *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源をOFF し、 POWER/SLEEP スイッチを押し、電源をON *EXPRESSSCOPE エンジン2のWeb ブラウザ、また はESMPRO/ServerManager からの制御 OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを 押すことにより、モジュラーサーバの電源をOFF し、 モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから一旦 取り出し、再度取り付け直し、POWER/SLEEP スイッ チを押し、電源をON してください。 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡し てください。
Processor T-Trip	ブロセッサの高温異常により強 制的に電源 OFF を行った。	 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの電源をONする。 *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源をONする。 *EXPRESSSCOPE エンジン2のWeb ブラウザ、または ESMPRO/ServerManager から制御する。 モジュールエンクロージャのFAN BOX を確認する。 モジュールエンクロージャのーザーズガイドを参照し、正しい数量・位置のFAN BOX が実装されているかを確認する。 FAN BOX とモジュラーサーバとの実装位置関係が正しいことを確認する。 設置環境が動作保障温度を満たしていることを確認する。 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡してください。

● STATUSランプがアンバー色に点灯しているとき

メッセージ	意味	対処方法
Proc Temp Alm O2	プロセッサで低温異常を検出し た。	 モジュールエンクロージャの FAN BOX を確認してく ださい。 モジュールエンクロージャのユーザーズガイドを参照 し、正しい数量・位置の FAN が実装されているかを確
		 認してください。 3. FAN BOX とモジュラーサーバとの実装位置関係が正しいことを確認してください。 4. モジュラーサーバのヒートシンクの取り付け状態を確認してください。 5. 設置環境が動作保障温度を満たしていることを確認し
		くください。 6. 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの再 立ち上げ(リセット)を実施してください。 *OS からの制御
Proc Temp Alm 09	プロセッサで高温異常を検出した。	 *I Ctrl + Alt + Del] キー人力 *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web プラウザ、また は ESMPRO/ServerManager からの制御 !以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの電 源を一旦 OFF し、電源を ON してください。 *OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを 押し、電源を ON *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、 POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web プラウザ、また は ESMPRO/ServerManager からの制御 OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを 押すことにより、モジュラーサーバの電源を OFF し、 モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから一旦 取り出し、車度取り付け声し、POWFR/SLEFP スイッチ
		チを押し、電源をONしてください。 9. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡し てください。
BB Temp2 Alm O2	ペースボードで低温異常を検出 した。	 モジュールエンクロージャの FAN BOX を確認してく ださい。 モジュールエンクロージャのユーザーズガイドを参照 し、正しい数量・位置の FAN が実装されているかを確 認してください。 FAN BOX とモジュラーサーバとの実装位置関係が正 しいことを確認してください。
BB Temp2 Alm 09	ベースボードで高温異常を検出 した。	 設置環境が動作保障温度を満たしていることを確認してください。 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの再立ち上げ(リセット)を実施してください。 *OS からの制御 * [Ctrl + Alt + Del] キー入力 * EXPRESSSCOPE エンジン 2の Web プラウザ、または FSMPRO/ServerManager からの制御
BB Temp1 Alm O2	ベースボードで低温異常を検出 した。	 6. 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの電源を一旦 OFF し、電源を ON してください。 * OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを 押し、電源を ON * POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、 POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON * EXPRESSCOPE エンジン 2 の Web ブラウザ、また
BB Temp1 Alm 09	ペースボードで高温異常を検出 した。	は ESMPRO/ServerManager からの制御 7. OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを 押すことにより、モジュラーサーバの電源を OFF し、 モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから一旦 取り出し、再度取り付け直し、POWER/SLEEP スイッ チを押し、電源を ON してください。 8. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡して ください。

メッセージ	意味	対処方法
VBAT ALm O2	リチウムバッテリ電圧異常(下 限)を検出した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの電源を一旦 OFF し、電源を ON する。 * OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを 押し、電源を ON する。 * POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、 POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON する。 * EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラウザ、また は ESMPRO/ServerManager からの制御する。
VBAT ALm 09	リチウムパッテリ電圧異常(上 限)を検出した。	 2. OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを 押すことにより、モジュラーサーバの電源を OFF し、 モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから一旦 取り出し、再度取り付け直し、POWER/SLEEP スイッ チを押し、電源を ON する。 3. モジュラーサーバ上のリチウムバッテリの取り付け状態 を確認する。 4. モジュラーサーバ上のリチウムバッテリを交換する。 5. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡して ください。
BB 1.8v Alm O2	1.8V 電圧異常(下限)を検出し た。	1. 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの電 源を一旦 OFF し、電源を ON する。 * 0S から電流を OFF し、回知(FD/C) FED スイッズを
BB 1.8v Alm 09	1.8V 電圧異常(上限)を検出し た。	* POWFR/SI FFP スイッチを押し、電源を OFF し、 * POWFR/SI FFP スイッチを押し、電源を OFF し、
BB 0.9v Alm 02	0.9V 電圧異常(下限)を検出し た。	POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON する。 *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラウザ、また
BB 0.9v Alm 09	0.9V 電圧異常(上限)を検出し た。	はESMPRO/ServerManagerからの制御する。 2. OS からの制御、あるいはPOWER/SLEEP スイッチを 細すことにとし、エジュラーサーバの雪酒をのEE
BB 1.5v Alm O2	1.5V 電圧異常(下限)を検出し た。	モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから一旦 取り出し、再度取り付け直し、POWER/SLEEPスイッ
BB 1.5v Alm 09	1.5V 電圧異常(上限)を検出し た。	チを押し、電源を ON する。 3. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡して
BB 3.3v Alm O2	3.3V 電圧異常(下限)を検出し た。	ください。
BB 3.3v Alm 09	3.3V 電圧異常(上限)を検出し た。	
BB 5.0v Alm O2	5.0V 電圧異常(下限)を検出し た。	
BB 5.0v Alm 09	5.0V 電圧異常(上限)を検出し た。	
BB 12v Alm O2	12V 電圧異常(下限)を検出し た。	
BB 12v Alm 09	12V 電圧異常(上限)を検出し た。	
BB 1.2vsb Alm O2	1.2Vsb 電圧異常(下限)を検出 した。	
BB 1.2vsb Alm 09	1.2Vsb 電圧異常(上限)を検出 した。	
BB 3.3vsb Alm O2	3.3Vsb 電圧異常(下限)を検出 した。	
BB 3.3vsb Alm 09	3.3Vsb 電圧異常(上限)を検出 した。	
Proc 1.05v Alm 02	プロセッサの 1.05V 電圧異常 (下限)を検出した。	1. 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの電 源を一旦 OFF し、電源を ON する。
Proc 1.05v Alm 09	プロセッサの 1.05 電圧異常(上 限)を検出した。	*OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを 押し、電源を ON する。
Proc Core Alm O2	プロセッサのコア電圧異常(下 限)を検出した。	 POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、 POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON する。 * FXPRESSSCOPF エンジン2の Web ブラウザ また
Proc Core Alm 09	プロセッサのコア電圧異常(上限)を検出した。	は ESMPRO/ServerManager からの制御する。 2. OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを 押すことにより、モジュラーサーバの電源を OFF し、 モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから一旦 取り出し、再度取り付け直し、POWER/SLEEP スイッ チを押し、電源を ON する。 3. モジュラーサーバのヒートシンクの取り付け状態を確認 してください。 4. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡して ください。
FIOC MISSING	ノロセツリか芙装されていない。	「休可リーヒス云杠に連絡ししくにさい。

● STATUSランプがアンバー色に点滅しているとき

メッセージ	意味	対処方法			
System FAN2R Alm	<警告レベル >FAN BOX2 リア の異常を検出した。	1. モジュールエンクロージャのユーザーズガイドを参照 し、FAN BOX を交換してください。			
System FAN2F Alm	<警告レベル >FAN BOX2 フロ ントの異常を検出した。	2. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡してください。			
System FAN1R Alm	<警告レベル >FAN BOX1 リア の異常を検出した。				
System FAN1F Alm	<警告レベル>FAN BOX1 フロ ントの異常を検出した。				
Proc Temp Alm OO	< 警告レベル > プロセッサで低 温異常を検出した。	 モジュールエンクロージャのFAN BOXを確認してく ださい。 モジュールエンクロージャのユーザーズガイドを参照 し、正しい数量・位置のFAN が実装されているかを確 認してください。 FAN BOX とモジュラーサーバとの実装位置関係が正し いことを確認してください。 モジュラーサーバのヒートシンクの取り付け状態を確 認してください。 設置環境が動作保障温度を満たしていることを確認し てください。 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの再 立ち上げ(リセット)を実施してください。 *Ctrl + Alt + Dell キー入力 			
Proc Temp Alm 07	< 警告レベル > プロセッサで高 湿異常を検出した。	 *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラウザ、また は ESMPRO/ServerManager からの制御 ?. 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの電 源を一旦 OFF し、電源を ON してください。 * OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを 押し、電源を ON * POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、 POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、 POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON * EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラウザ、また は ESMPRO/ServerManager からの制御 8. OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを 押すことにより、モジュラーサーバの電源を OFF し、 モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから一旦 取り出し、再度取り付け直し、POWER/SLEEP スイッ チを押し、電源を ON してください。 9. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡し てください。 			
BB Temp2 Alm OO	< 警告レベル > ベースボードで 低温異常を検出した。	 モジュールエンクロージャの FAN BOX を確認してく ださい。 モジュールエンクロージャのユーザーズガイドを参照 し、正しい数量・位置の FAN が実装されているかを確 認してください。 FAN BOX とモジュラーサーバとの実装位置関係が正し いことを確認してください。 			
BB Temp2 Alm 07	<警告レベル > ベースボードで 高温異常を検出した。	 4. 改画環境が動作株岸海及を満たしていることを確認してください。 5. 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの再立ち上げ(リセット)を実施してください。 * OS からの制御 *「Ctrl + Alt + Del」キー入力 * EXPRESSSCOPE エンジン2の Web プラウザ、または ESMPRO/ServerManager からの制御 			
BB Temp1 Alm OO	<警告レベル > ベースボードで 低温異常を検出した。	 6. 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの電 滴を一旦 OFF し、電源を ON してください。 * OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを 押し、電源を ON * POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、 POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON * EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web ブラウザ、また は FOMPDO (Downshing) からのがす。 			
BB Temp1 Alm 07	<警告レベル > ベースボードで 高温異常を検出した。	は ESMPRO/ServerManager からの制御 7. OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを 押すことにより、モジュラーサーパの電源を OFF し、 モジュラーサーパをモジュールエンクロージャから一旦 取り出し、再度取り付け直し、 POWER/SLEEP スイッ チを押し、電源を ON してください。 8. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡して ください。			

メッセージ	意味	対処方法
VBAT Alm OO	< 警告レベル > リチウムバッテ リ電圧異常(下限)を検出した。	 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの電源を一旦 OFF し、電源を ON する。 * OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを 押し、電源を ON する。 * POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、 POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON する。 * EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web プラウザ、また は ESMPRO/ServerManager からの制御する。 2 OS からの制御する。
VBAT ALm 07	< 警告レベル > リチウムパッテ リ電圧異常(上限)を検出した。	 といるからい間は、おもいなラーサーバの電源をOFFし、 押すことにより、モジュラーサーバの電源をOFFし、 モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから一旦 取り出し、再度取り付け直し、POWER/SLEEPスイッ チを押し、電源をONする。 モジュラーサーバ上のリチウムバッテリの取り付け状態 を確認する。 モジュラーサーバ上のリチウムバッテリを交換する。 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡して ください。
BB 1.8v Alm 00	< 警告レベル >1.8V 電圧異常 (下限)を検出した。	1. 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの電 渡を一旦 OFF し、電源を ON する。
BB 1.8v Alm 07	< 警告レベル >1.8V 電圧異常 (上限)を検出した。	* OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを 押し、電源を ON する。 * POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF L
BB 0.9v Alm 00	< 警告レベル >0.9V 電圧異常 (下限)を検出した。	POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON する。 *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web プラウザ、また
BB 0.9v Alm 07	< 警告レベル >0.9V 電圧異常 (上限)を検出した。	は ESMPRO/ServerManager からの制御する。 2. OS からの制御、あるいは POWER/SLEEP スイッチを 押すったにしていた。 はの感覚を OFC
BB 1.5v Alm 00	< 警告レベル >1.5V 電圧異常 (下限)を検出した。	TY りここより、モジュラーリーハの電源を OFF し、 モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから一旦 取り出し、再度取り付け直し、 POWFR/SI FEP スイッ
BB 1.5v Alm 07	< 警告レベル >1.5V 電圧異常 (上限)を検出した。	チを押し、電源をONする。 3. 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡して
BB 3.3v Alm 00	< 警告レベル >3.3V 電圧異常 (下限)を検出した。	ください。
BB 3.3v Alm 07	< 警告レベル >3.3V 電圧異常 (上限)を検出した。	
BB 5.0v Alm 00	< 警告レベル >5.0V 電圧異常 (下限)を検出した。	
BB 5.0v Alm 07	< 警告レベル >5.0V 電圧異常 (上限)を検出した。	
BB 12v Alm OO	< 警告レベル >12V 電圧異常 (下限)を検出した。	
BB 12v Alm 07	< 警告レベル >12V 電圧異常 (上限)を検出した。	
BB 1.2vsb Alm OO	< 警告レベル >1.2Vsb 電圧異 常(下限)を検出した。	
BB 1.2vsb Alm 07	< 警告レベル >1.2Vsb 電圧異 常(上限)を検出した。	
BB 3.3vsb Alm OO	< 警告レベル >3.3Vsb 電圧異 常(下限)を検出した。	
BB 3.3vsb Alm 07	< 警告レベル >3.3Vsb 電圧異 常(上限)を検出した。	
Proc 1.05v Alm 00	< 警告レベル > プロセッサの 1.05V 電圧異常(下限)を検出 した。	1. 以下のいずれかの方法により、モジュラーサーバの電源を一旦 OFF し、電源を ON する。 * OS から電源を OFF し、POWER/SLEEP スイッチを 押し、電源を OFF する。
Proc 1.05v Alm 07	< 警告レベル > プロセッサの 1.05 電圧異常(上限)を検出し た。	 *POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を OFF し、 POWER/SLEEP スイッチを押し、電源を ON する。 *EXPRESSSCOPE エンジン 2 の Web プラウザ、また は ESMPRO/ServerManager からの制御する。 2. OS からの制御、あるいは POWER/SI FFP スイッチを
Proc Core Alm OO	<警告レベル > プロセッサのコ ア電圧異常(下限)を検出した。	押すことにより、モジュラーサーバの電源を OFF し、 モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから一旦 取り出し、再度取り付け直し、POWER/SLEEP スイッ チを押し、電源を ON する。
Proc Core Alm O7	<警告レベル > プロセッサのコ ア電圧異常(上限)を検出した。	 エジュラーサーバのヒートシンクの取り付け状態を確認してください。 問題が解決しない場合は、保守サービス会社に連絡してください。

トラブルシューティング

システムが思うように動作しない場合は修理に出す前に次のチェックリストの内容に従って 本装置をチェックしてください。リストにある症状に当てはまる項目があるときは、その後 の確認、処理に従ってください。

それでも正常に動作しない場合は、ディスプレイ装置の画面に表示されたメッセージを記録 してから、保守サービス会社に連絡してください。

モジュラーサーバについて

[?] <u>電源がONにならない</u>

- □ 電源がシステムに正しく供給されていますか?
 - → モジュールエンクロージャに専用のケーブルK410-213 DC電源ケーブルを使用してください。また、DC電源ケーブルの被覆が破れていたり、プラグ部分が折れていたりしていないことを確認してください。
 - → EcoPowerGatewayのDC出力スイッチがONになっていることを確認してく ださい。
 - → モジュラーサーバが正しく取り付けられていることを確認してください。 また、モジュラーサーバのBIOSセットアップユーティリティでモジュールエ ンクロージャとの電源連動機能の設定ができます。 <確認するメニュー:「Server」メニューにある「AC-LINK」>
- □ 必要な数の電源ユニットがEcoPowerGatewayに搭載されていますか?
 - → 必要な電源ユニット数についてはEcoPowerGatewayユーザーズガイドを参 照してください。
- □ モジュールエンクロージャのFAN BOXが、必要な数量・正しい位置に実装されて いますか?
 - → 必要な数量・実装位置については、モジュールエンクロージャ(1way)ユー ザーズガイドを参照してください。
- □ モジュラーサーバへの電源供給開始後、5秒以内に電源ON操作を行っていません か?
 - → モジュラーサーバへの電源供給開始後、BMC初期化を約5秒間行います。モジュールエンクロージャへのモジュラーサーバ取り付け後、5秒以上経過してから、POWER/SLEEPスイッチにて電源ONを行ってください。

[?] <u>ネットワークを介したリモートパワーオンが機能しない(Wake On LANが機能しな</u> い)

- □ 強制電源OFFをしていませんか?
 - → 強制電源OFF(モジュラーサーバのPOWER/SLEEPスイッチを4秒以上押し 続けてモジュラーサーバを強制的に電源OFFにする機能)の後は、Wake On LANは機能しません。いったんモジュラーサーバを起動した後、通常の シャットダウン処理を行ってください。

[?] <u>電源がOFFにならない</u>

- □ POWER/SLEEPスイッチ抑止機能を有効にしていませんか?
 - → いったんモジュラーサーバを再起動して、BIOSセットアップユーティリティ を起動してください。
 <確認するメニュー: [Security] → [Power Switch Inhibit] >

[?] 勝手に電源がOFFした・勝手にシャットダウンした

- □ モジュラーサーバが温度異常を検出していませんか?
 - → 温度異常が発生した場合、モジュラーサーバはシャットダウンします。 適切な環境で使用してください。

[?] <u>POSTが終わらない</u>

- □ メモリが正しく搭載されていますか?
 - → DIMMが正しく搭載されていないと動作しません。
- □ モジュラーサーバの起動直後にキーボードやマウスを操作していませんか?
 - → 起動直後にキーボードやマウスを操作すると、POSTは誤ってキーボードコントローラの異常を検出し、処理を停止してしまうことがあります。そのときはもう一度、起動し直してください。また、再起動直後は、BIOSの起動メッセージなどが表示されるまでキーボードやマウスを使って操作しないよう注意してください。
- □ モジュラーサーバで使用できるメモリを搭載していますか?
 - → 弊社が指定する機器以外は動作の保証はできません。

[?] [System Configration Data Read Error」が表示され、画面が停止する

- □ POST中に以下の行為をしましたか?
 - モジュラーサーバのPOWER/SLEEPスイッチを押し、モジュラーサーバを強 制電源OFFした。
 - モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから取り外した。
 - → 保守サービス会社に連絡してください。

[?] <u>モジュラーサーバに標準装備のLANのMACアドレスがわからない</u>

→ モジュラーサーバのカードエッジ付近に貼られているラベルで確認できます。 詳しくは18ページを参照してください。

[?] 内蔵デバイスや外付けデバイスにアクセスできない(または正しく動作しない)

- □ ケーブルは正しく接続されていますか?
 - → インタフェースケーブルや電源ケーブル(コード)が確実に接続されている ことを確認してください。また接続順序が正しいかどうか確認してください。
- □ 電源ONの順番を間違っていませんか?
 - → 外付けデバイスを接続している場合は、外付けデバイス、モジュラーサーバ の順に電源をONにします。

- □ ドライバをインストールしていますか?
 - → 接続したオプションのデバイスによっては専用のデバイスドライバが必要な ものがあります。デバイスに添付の説明書を参照してドライバをインストー ルしてください。
 - → シリアルポートやUSBポートに接続しているデバイスについては、I/Oポート アドレスや動作モードの設定が必要なものもあります。デバイスに添付の説 明書を参照して正しく設定してください。
 <確認するメニュー:「Advanced」→「Peripheral Configuration」、 「Server」→「Console Redirection」>

[?] <u>キーボードやマウスが正しく機能しない</u>

- □ BIOSの設定を間違えていませんか?
 - → モジュラーサーバのBIOSセットアップユーティリティでキーボードの機能を 変更したり、マウスを無効にしたりすることができます。BIOSセットアップ ユーティリティで設定を確認してください。
 <確認するメニュー:「Advanced」→「Peripheral Configuration」、 「Advanced」→「NumLock」>
- □ ドライバをインストールしていますか?
 - → 使用しているOSに添付の説明書を参照してキーボードやマウスのドライバが インストールされていることを確認してください(これらはOSのインストー ルの際に標準でインストールされます)。また、OSによってはキーボードや マウスの設定を変更できる場合があります。使用しているOSに添付の説明書 を参照して正しく設定されているかどうか確認してください。
- □ Windows Server 2003やLinuxが起動していない状態で使用していますか?
 - → USBキーボードとUSBフロッピーディスクドライブを使用した以下の状態に おいては、USBフロッピーディスクドライブのアクセスランプが消灯してい るとき(フロッピーディスクへアクセスしていないとき)にキー入力をして ください。
 - サポートディスクを使ってインストールする時に<F6>、<S>、
 <Enter>キーを入力する場合
 - ROM-DOSシステムディスクを起動し、コマンドを入力する場合

[?] ハードディスクドライブにアクセスできない

- □ 本装置で使用できるハードディスクドライブですか?
 - → NECが指定する機器以外は動作の保証はできません。
- □ ハードディスクドライブは正しく取り付けられていますか?
 - → 内蔵SAS/SATAケーブルのコネクタが正しく取り付けられているか確認して ください。

[?] <u>OSを起動できない</u>

- □ BIOSで正しく設定されていますか?
 - → モジュラーサーバのBIOSセットアップユーティリティで起動デバイスの設定 を確認してください。 <確認するメニュー:「Boot」>

- □ フロッピーディスクをセットしていませんか?
 - → フロッピーディスクを取り出して再起動してください。
- [?] フロッピーディスクを外付フロッピーディスクドライブ(USB接続)にセットしている のに、「フロッピーディスクの準備ができていません」というメッセージが表示される
- [?] <u>ライトプロテクトをしていないフロッピーディスクを外付フロッピーディスクドライブ</u> (USB接続)にセットしているのに、「フロッピーディスクが書き込み禁止状態です」 というメッセージが表示される
 - □ 故障ではありません。
 - → リトライしてください(何度かリトライが必要な場合もあります)。

[?] 正しいDVD/CD-ROMを挿入したのに以下のメッセージが表示される



- □ DVD/CD-ROMのデータ面が汚れていたり、傷ついていたりしていませんか?
 - → 光ディスクドライブからDVD/CD-ROMを取り出し、よごれや傷などがない ことを確認してから、再度DVD/CD-ROMをセットし、[OK]をクリックして ください。

[?] <u>DVD/CD-ROMにアクセスできない</u>

- □ DVD/CD-ROMディスクの表裏を間違えてセットしていませんか?
 - → トレイからDVD/CD-ROMディスクを取り出し、DVD/CD-ROMディスクの トップレーベルを上にして、セットし直してください。
- □ DVD/CD-ROMディスクに汚れやキズがありませんか?
 - → DVD/CD-ROMディスクの表面に指紋などの汚れやキズがないことを確認してください。汚れがある場合は、DVD/CD-ROMディスクの表面をクリーニングしてください。それでも読み込みができない場合は、アクセスが可能だった別のDVD/CD-ROMディスクに入れ替えて、再度、読み込みができるかどうか確認してください。
- □ DVD/CD-ROMディスクがクローズされた状態になっていますか?
 - → セッションをクローズした状態にするかディスクを閉じた状態にして再度、 読めるかどうか確認してください。

[?] <u>障害発生時、「自動的に再起動する」の設定で、設定どおりに動作しない</u>

→ 障害発生時に「自動的に再起動する」の設定にかかわらず、自動的に再起動 する場合や再起動しない場合があります。再起動しない場合は、手動で再起 動してください。

[?] <u>ブルー画面で電源OFFができない</u>

→ ブルー画面で電源をOFFにする時は、強制電源OFF(強制電源OFF: POWER/ SLEEPスイッチを4秒間押し続ける)を行ってください。一度押しでは電源は OFFになりません。

[?] <u>ネットワーク上で認識されない</u>

- □ ケーブルを接続していますか?
 - → ネットワークケーブルの接続状態を確認してください。また、使用するケー ブルがネットワークインタフェースの規格に準拠したものであることを確認 してください。
- プロトコルやサービスのセットアップを済ませていますか?
 - → 専用のネットワークドライバをインストールしてください。また、TCP/IPな どのプロトコルのセットアップや各種サービスが確実に設定されていること を確認してください。
- □ 転送速度の設定を間違えていませんか?
 - → モジュラーサーバに標準で装備されている内蔵のLANコントローラは、転送 速度が1Gbpsか100Mbps、10Mbpsのいずれかのネットワークで使用するこ とができます。この転送速度の切り替え、または設定はOS上から行えます が、「自動検出」という機能は使用せず、運用しようとしている転送速度に設 定してください。また、接続しているHubと転送速度やデュプレックスモー ドが同じであることを確認してください。 ただし、Wake On LAN機能を使用する場合は、リンク速度とデュプレック スモードの設定を[自動検出(Auto)]に設定する必要があります。

[?] Webブラウザからリモートマネージメント機能を利用する際のログイン名/パスワード を忘れてしまった

→ ログイン名やパスワード設定を忘れてしまった場合には、以下の手順でパス ワードを含む各設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

本体装置にバンドルされている管理ソフトESMPRO/ServerManagerを使用している場合は、ESMPRO/ServerManagerにて設定した項目も本操作を行うとクリアされます。本操作を行う前に、ESMPRO/ServerManagerの設定情報のバックアップを行ってください。

- (1) モジュラーサーバから「EXPRESSBUILDER」DVDを起動する。
- (2)「Tool menu (Normal mode)」-「Japanese」を選択する。
- (3)「System Management」を選択する。
- (4)「BMC設定の初期化」を選択する。
- (5) モジュラーサーバの電源をOFFする。
- (6) モジュラーサーバをモジュールエンクロージャから取り外す。
- (7) 30秒以上経過した後、モジュラーサーバを取り付ける。

「EXPRESSBUILDER」 DVDについて

「EXPRESSBUILDER」DVDから起動できない場合は、次の点について確認してください。

- □ POSTの実行中に「EXPRESSBUILDER」DVDをセットし、再起動しましたか?
 - → POSTを実行中に「EXPRESSBUILDER」DVDをセットし、再起動しないと エラーメッセージが表示されたり、OSが起動したりします。
- □ BIOSのセットアップを間違えていませんか?
 - → BIOSセットアップユーティリティでブートデバイスの起動順序を設定することができます。BIOSセットアップユーティリティで光ディスクドライブが最初に起動するよう順序を変更してください。
 <確認するメニュー:「Boot」>
- □ 未フォーマット状態のFlash FDD、又はフロッピーディスクを接続していません か?
 - → 接続されているFlash FDD、又はフロッピーディスクがWindowsからフォーマット済みと認識されることを確認してください。未フォーマット状態の場合はフォーマットしてください。

ESMPROについて

ESMPRO/ServerManagerについて

→ N8141-49モジュールエンクロージャ(1way)に添付の 「EXPRESSBUILDER」DVD内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ ServerManagerインストレーションガイド」でトラブルの回避方法やその他 の補足説明が記載されています。参照してください。

保守ツール

保守ツールは、本製品の予防保守、障害解析、設定等を行うためのツールです。

本書内の説明、および各種ツールのメッセージにおいてフロッピー ディスクに関する記述がありますが、本製品はフロッピーディスク ドライブを内蔵していません。 オプションの Flash FDD を使用するか、USB フロッピーディスク ドライブをお持ちの方は USB フロッピーディスクドライブを使用 してください。

保守ツールの起動方法

次の手順に従って保守ツールを起動します。

- 1. 周辺機器、Expressサーバの順に電源をONにします。
- 2. Expressサーバの光ディスクドライブへ「EXPRESSBUILDER」DVDをセット します。
- DVDをセットしたら、リセットする(<Ctrl> + <Alt> + <Delete>キーを押 す)か、電源をOFF/ONしてExpressサーバを再起動します。

光ディスクドライブから以下のようなメニューが起動します。

Tool menu (Normal mode): ローカルコンソールでツールを使用 する場合に選択します。	/	Boot sele Us installation **** Tool Menu (Normal Mo Tool Menu (Redirect	Boot select Ection + default *** ode) fon mode)	ion		
Tool menu (Redirection mode): コンソールレスでツールを使用する場 合に選択します。	/		Automatic select	at 18	seconds	



 ローカルコンソールを使用する場合は「Tool menu (Normal mode)」を、コン ソールレスで使用する場合は「Tool menu (Redirection mode)」を選択します。

以下に示すLanguage selection メニューを表示します。

Language selection Japanese: Language selection Japanese *** default *** English Return to previous menu 以降のメニューを日本語で表 -示します。 English: -以降のメニューを英語で表示 します。 Automatic select at 5 seconds Return to previous menu: Boot selectionメニューを表 示します。 elect language which you want to use by the cursor key

★● メニューの初期選択は「Japanese」となっています。
Language selectionメニュー表示後、5秒間操作が行われない場合は、
「Japanese」が自動で起動します。

5. 「Japanese」を選択します。

「Japanese」を選択すると次のツールメニューを表示します。



ローカルコンソールを使用した場合

コンソールレスの場合

6. 各ツールを選択し、起動します。

保守ツールの機能

保守ツールでは以下の機能を実行できます。

Maintenance Utility

Maintenance Utilityではオフライン保守ユーティリティを起動します。オフライン保守 ユーティリティは、本製品の予防保守、障害解析を行うためのユーティリティです。 ESMPROが起動できないような障害が本製品に起きた場合は、オフライン保守ユーティ リティを使って障害原因の確認ができます。

★○ オフライン保守ユーティリティは通常、保守員が使用するプログラムです。オ フライン保守ユーティリティを起動するとメニュー中にヘルプ(機能や操作方 法を示す説明)がありますが、無理な操作をせずにオフライン保守ユーティリ ティの操作を熟知している保守サービス会社に連絡して、保守員の指示に従っ て操作してください。

オフライン保守ユーティリティを起動すると、以下の機能を実行できます。

IPMI情報の表示

IPMI(Intelligent Platform Management Interface)におけるシステムイベントロ グ(SEL)、センサ装置情報(SDR)、保守交換部品情報(FRU)の表示やIPMI情報の パックアップをします。

本機能により、本製品で起こった障害や各種イベントを調査し、交換部品を特定す ることができます。

- BIOSセットアップ情報の表示

BIOSの現在の設定値をテキストファイルへ出力します。

- システム情報の表示

プロセッサ(CPU)やBIOSなどに関する情報を表示したり、テキストファイルへ出 力したりします。

- システム情報の管理

お客様の装置固有情報や設定のバックアップ(退避)をします。バックアップを行うことで、ボードの修理や交換の際に装置固有情報や設定を復旧できます。



- システムマネージメント機能

BMC(Baseboard Management Controller)による通報機能や管理PCからのリモート制御機能を使用するための設定を行います。

BIOS/FW Updating

弊社Webサイトの以下ページで配布される各種BIOS/FW (ファームウェア)のアップ デートを使用して、本装置のBIOS/FWをアップデートすることができます。

[PCサーバ サポート情報] http://support.express.nec.co.jp/pcserver/

各種BIOS/FWのアップデートを行う手順は、配布される「各種BIOS/FWのアップデートモジュール」に含まれる「README.TXT」に記載されています。記載内容に従って アップデートを行ってください。「README.TXT」はWindowsのメモ帳などで読むこと ができます。



• ROM-DOS Startup FD

ROM-DOSシステムの起動用サポートディスクを作成します。

• Test and diagnostics

Test and diagnostics(システム診断)では本体上で各種テストを実行し、本体の機能 および本体と拡張ボードなどとの接続を検査します。システム診断を実行すると、本体 に応じてシステムチェック用プログラムが起動します。94ページを参照してシステム チェック用プログラムを操作してください。

• System Management

BMC(Baseboard Management Controller)による通報機能や管理PCからのリモート 制御機能を使用するための設定を行います。このメニューから起動する機能は、 Maintenance Utilityのシステムマネージメント機能から起動するものと同じです。

コンソールレス

保守ツールは、本体にキーボードなどのコンソールが接続されていなくても各種セットアップを管理用コンピュータ(管理PC)から遠隔操作することができる「コンソールレス」機能を持っています。



起動方法

次の2通りの方法があります。

● LAN接続された管理PCから実行する

ダイレクト接続された管理PCから実行する
 起動方法の手順については、「ESMPRO/ServerManager」インストレーションガイドを参照してください。

⋥ 一〇	•	BIOSセットアップユーティリティのBootメニューで起動順序を変えな いでください。光ディスクドライブが最初に起動するようになっていな いと使用できません。
	•	LAN接続はマネージメント専用LANコネクタ、またはShared BMC LAN機能使用時はLANコネクタ1のみ使用可能です。
	•	ダイレクト接続はシリアルポートのみ使用可能です。
	•	コンソールレスで本装置を遠隔操作するためには、操作する管理PCと の通信方法や詳細な設定を保存した「設定情報ファイル」を格納したフ ロッピーディスクを必ずFDドライブに挿入しておく必要があります。 「設定情報ファイル」はツールメニューのシステムマネージメント機能 や、ESMPRO/BMC Configurationで作成することができます。「設 定情報ファイル」はフロッピーディスクのルートディレクトリに必ず以 下のファイル名で作成してください。
		<設定情報ファイル名>: CSL_LESS.CFG
	•	BIOSセットアップユーティリティを通常の終了方法以外の手段(電源 OFFやリセット)で終了するとリダイレクションが正常にできない場合 があります。設定ファイルで再度設定を行ってください。



BIOS設定情報は以下の値にセットされます。

- Serial Port: [Enabled]
- Serial Port I/O Address: [3F8]
- Serial Port Interrupt: [IRQ4]
- BIOS Redirection Port: [Disabled]
- Baud Rate: [19.2K]
- Flow Control: [CTS/RTS]
- Console Type: [VT 100+]

システムマネージメント

システムマネージメント機能はベースボードマネージメントコントローラ(Baseboard Management Controller: BMC)による通報機能や管理用PCからのリモート制御機能を使用するための設定を行います。



システムマネージメントは、「EXPRESSBUILDER」から次の方法で起動することができます。

- 「EXPRESSBUILDER」DVDを本体装置の光ディスクドライブにセットして、再 起動する。
- [Tool menu] [Japanese] [System Management] の順に選択する。もし くは、[Tool menu] – [Japanese] – [Maintenance Utility] – [システムマ ネージメント機能]の順に選択する。

機能

システムマネージメントを起動すると、以下の機能を実行できます。

- ファームウェア管理情報の表示

BMC(Baseboard Management Controller)に関する情報を表示します。

- システムマネージメントの設定

BMCによる通報機能や管理用PCからのリモート制御機能を使用するための設定、 通報テストを行います。

BMC設定の初期化
 BMCの設定を初期値に戻します。

各設定については、起動後のヘルプを参照してください。

移動と保管

モジュラーサーバやハードディスクドライブを移動・保管するときは次の手順に従ってくだ さい。





- ■● フロアのレイアウト変更など大掛かりな作業の場合はお買い上げの販売 「重要」● 「フロアのレイアウト変更など大掛かりな作業の場合はお買い上げの販売」 店または保守サービス会社に連絡してください。
 - ハードディスクドライブに保存されている大切なデータはバックアップ をとっておいてください。
 - ハードディスクドライブを内蔵している場合はハードディスクドライブ に衝撃を与えないように注意して本体を移動させてください。
 - 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を 保てる場所に保管することをお勧めします。
 装置を保管する場合は、保管環境条件(温度:-10℃~55℃、湿度: 20%~80%)を守って保管してください(ただし、結露しないこと)。

<モジュールエンクロージャにモジュラーサーバを搭載したまま移動・保管する場合>

モジュールエンクロージャにモジュラーサーバを搭載したまま移動・保管するときは、モジュールエンクロージャ(1way)ユーザーズガイドを参照してください。

<モジュラーサーバ単体を移動・保管する場合>

ハードウェア編で記載されている取り付け/取り外し手順に従ってモジュラーサーバを モジュールエンクロージャから取り外し、購入時に入っていた袋や梱包箱に入れて、移 動・保管してください。



<モジュールエンクロージャを移動・保管する場合>

モジュールエンクロージャを移動・保管するときは、モジュールエンクロージャ(1way) ユーザーズガイドを参照してください。

ユーザーサポート

アフターサービスをお受けになる前に、保証およびサービスの内容について確認してください。

保証について

本製品には『保証書』が添付されています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡し しますので、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。保証期間中に故障が発生し た場合は、『保証書』の記載内容にもとづき無償修理いたします。詳しくは『保証書』および この後の「保守サービスについて」をご覧ください。保証期間後の修理についてはお買い求 めの販売店、最寄りのNECまたは保守サービス会社に連絡してください。

- ■● NEC製以外(サードパーティ)の製品、またはNECが認定していない 装置やインタフェースケーブルを使用したために起きた装置の故障については、その責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 本装置には製品の形式、SERIAL No. (製造番号)、定格、製造業者名、 製造国が明記された銘板が貼ってあります。販売店にお問い合わせする 際にこの内容をお伝えください。製品の形式、SERIAL No.(製造番号) は、装置前面に取り付けられているスライドタグからも確認できます。 また銘板、スライドタグの製造番号と保証書の保証番号が一致していま せんと、装置が保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないこ とがありますのでご確認ください。万一違う場合は、販売店にご連絡く ださい。





バッテリの保証について

本装置には、内蔵の時計用にバッテリが内蔵されています。

本バッテリの保証期間は5年です。時計が停止したり、遅れるようになった場合は、保守 サービス会社に連絡してください。

修理に出される前に

「故障かな?」と思ったら、以下の手順を行ってください。

- 1. モジュールエンクロージャのDC電源ケーブルおよび他の装置と接続しているケー ブルが正しく接続されていることを確認します。
- 「障害時の対処(97ページ)」を参照してください。該当する症状があれば記載されている処理を行ってください。
- システムを運用するために必要となるソフトウェアが正しくインストールされていることを確認します。
- 4. 市販のウィルス検出プログラムなどで本製品をチェックしてみてください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お買い求めの販売店、最 寄りのNECまたは保守サービス会社にご連絡ください。その際に本製品のランプの表示や ディスプレイ装置のアラーム表示もご確認ください。故障時のランプやディスプレイによる アラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。保守サービス会社の連絡先に ついては、付録B「保守サービス会社網一覧」をご覧ください。 なお、保証期間中の修理は必ず保証書を添えてお申し込みください。

> ■ O この装置は日本国内仕様のため、NECの海外拠点で修理することはできませ 重要 ん。ご了承ください。

修理に出される時は

修理に出される時は次のものを用意してください。

□ 保証書

- □ ディスプレイ装置に表示されたメッセージのメモ
- □ 障害情報(障害情報は保守サービス会社から指示があったときのみ用意してください。)
- □ 本体・周辺機器の記録
- □ 装置本体またはスライドタグに記載されている型番、号機番号

補修用部品について

本装置の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

保守サービスについて

保守サービスは弊社の保守サービス会社、および弊社が認定した保守サービス会社によって のみ実施されますので、純正部品の使用はもちろんのこと、技術力においてもご安心の上、 ご都合に合わせてご利用いただけます。

なお、お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、弊社営業担当または代理店で 承っておりますのでご利用ください。保守サービスは、お客様に合わせて2種類用意してお ります。

保守サービスメニュー

契約保守サービス	お客様の障害コールにより優先的に技術者を派遣し、修理にあたります。この保守方式は、 装置に応じた一定料金で保守サービスを実施させていただくもので、お客様との間に維持保 守契約を結ばせていただきます。さまざまな保守サービスを用意しています。詳しくはこの 後の説明をご覧ください。
未契約修理	お客様の障害コールにより、技術者を派遣し、修理にあたります。保守または修理料金はそ の都度精算する方式で、作業の内容によって異なります。

NECでは、お客様に合わせてさまざまな契約保守サービスを用意しております。サービスの 詳細については、「[PCサーバ サポート情報] http://support.express.nec.co.jp/ pcserver/」をご覧ください。



情報サービスについて

本製品に関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。 ※ 電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

ファーストコンタクトセンター TEL. 03-3455-5800(代表)

受付時間/9:00~12:00、13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日を除く)

お客様の装置本体を監視し、障害が発生した際に保守拠点からお客様に連絡する「エクスプレス通報サービス(MG)」の申し込みに関するご質問・ご相談は「エクスプレス受付センター」でお受けしています。

※ 電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

エクスプレス受付センター TEL. 0120-22-3042

受付時間/9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日を除く)

インターネットでも情報を提供しています。

[NECコーポレートサイト] http://www.nec.co.jp/

製品情報やサポート情報など、本製品に関する最新情報を掲載しています。

http://club.express.nec.co.jp/

『Club Express』:『Club Express会員』への登録をご案内しています。 Express5800シリーズをご利用になる上で役立つ情報サービスの詳細をご紹介し ています。

http://www.fielding.co.jp/

NECフィールディング(株)ホームページ:メンテナンス、ソリューション、用 品、施設工事などの情報をご紹介しています。 ×т